題字：農業委員会長

農業委員会だより うえだ

平成30年度号
第13号
平成30年12月16日
発行人／上田市農業委員会
会長　柴﨑　義和
編　集／農業委員会だより
編集委員会

陣場台地でワイナリー起工式

10月25日、ワイン醸造メーカー メルシャンの自社ブドウ農場『椀子（マリコ）ヴィンヤード』でワイナリーの起工式が行われました。

完成イメージ図

このワイナリーは2019年秋のオープン予定で、ワインをその場で試飲して購入することもできます。

施設は鉄骨造り2階建てで延べ床面積は1,458㎡、初年度5千箱6万本の生産を見込み、醸造見学エリアのほか浅間山麓などの広大なパノラマを楽しめるテラスも設けられます。

起工式

遊休農地の解消対策から始まったこの陣場台地でのブドウ栽培の取り組みは、多くの関係者の尽力により、地域の期待を込めた上田市初のワイナリーとして実を結び、農業から産業化を経て、新たなる地域の活性化の拠点となり得ることを期待します。

うえだみどり大根 収穫祭 ～ずくだして作った大根、収穫の秋を満喫！～

10月28日、秋晴れの独鈷山麓で収穫の秋を満喫、500人もの方がずくだして「うえだみどり大根」を収穫しました。戦前開拓団として、中国に赴任していた当地出身者が持ち帰ったことが始まりと伝えられている「うえだみどり大根」、品質改良され地域に合った作物として栽培されてきました。鮮やかな「みどり」と、サラダにするとほんのり甘い、味わい深い大根です。焼いても揚げても生でも美味しく食べられます。

主な内容

会長あいさつ　農地貸借の支援……（2）
法改正後初の農業委員会事業計画……（3）
委員紹介　農林水産大臣表彰受賞……（4・5）
研修会に参加して……（6）
食品ロスとは　お勧めレシピ……（7）
がんばる農業者紹介……（8）

農業委員会だよりは上田市ホームページhttp://www.city.ueda.nagano.jp
各課案内　農業委員会事務局からもご覧いただけます。

がんばる農業者 ～システムエンジニアからの転身～

塩田地域で新規就農しました、星と申します。私は、東京都出身でシステムエンジニアとして長い間東京で勤務していました。その一方で、母方の祖父が上田市で農業を営んでおり、幼い頃から夏休みなどには祖父の農作業の手伝いをして農業や自然にふれていました。職業としての農業を志したきっかけは、2011年の東日本大震災で都会での生活リスクや食の問題、農業の重要性を考えるようになったからです。祖父の農業の後継者も居なかったことから、農業をやってみようと考えました。農業を始めることを決意したものの、農業に関する知識・経験が無かったので、東京にある日本農業経営大学校で2年間、(有)信州うえだファームで1年間の研修を受け、2018年に就農を果たしました。

経営作目は、アスパラガスを中心に野菜を作っていこうと考えています。選定理由としては、高単価であること、一度植えれば長期間に渡って収穫できること、コンテナのまま出荷できるのでその分面積を広げられる等が挙げられます。アスパラガスは播種してから3年後に収穫可能と言われているので、それまでの収入を心配していたのですが、(有)信州うえだファームからハウスアスパラガス7aを借りることができました。初年度から収入を得ながら新たにアスパラガスを20a植え、今後もさらに施設化、規模拡大を進めていきたいと思います。その他の野菜としては、年間の作業体系を考慮しながら、カボチャやニンニクを検討しています。

今年の春、採れたアスパラガスを東京の知人に食べて貰ったところ、東京でこんなに美味しいアスパラガスを食べたことがないと大変好評でした。また、上田市は東京からのアクセスも良いため、気軽に遊びに来れ、農村での暮らしに関心を持ってもらうこともあります。上田市に移住して一年半が過ぎました。まだまだ不慣れなことはありますが、将来的には農業者として地域の担い手となるのはもちろんのこと、都会の人との交流を通した地域貢献もできたらと考えています。

上田市前山　星　裕之

農作業事故が多発しています！ ～地域みんなで進めよう農作業安全～

長野県内では昨年、農作業に係る死亡事故、特に高齢者の事故が多く、農業機械による事故のほか、刈り取った下草等を焼いた火が衣服に燃え移り火傷をした事故も発生しています。
家族や仲間同士で互いに声を掛け合い、安全に作業を実施しましょう。

事故防止のための注意点

★耕耘機はバック時に注意！…よく後ろを見て
★草刈機は不安定姿勢と飛散物に注意！…安定した足場と防護服等
★トラクターは走行中の転倒・転落に注意！…スピード抑え、シートベルトにヘルメット

長野県農作業安全推進会議より

あとがき

二宮尊徳の教えに「農は万業の大本なり」という金言があります。
畑仕事は健康の源、朝日とともに起き、日が沈むとともに作業を終える。
天のリズムが体にみなぎっている。
健康を害するは天道とはずれた生き方をしている事なり。
大地に生えたる草木も天に素直に生きている。

農作物にとって、適度な天候はなくてはならないものですが、自然のことゆえに、農家の努力を超え、収量や品質が天候に左右されることがあります。その年その年が勝負です。自然環境や農業政策の変化に対応し、自らの経験と研鑽による農業経営に期待します。

農業委員会も今年7月に新体制となり、農業委員と新設の推進委員との連携により、農業委員会活動がより一層活発となりますよう、皆様のご協力をお願いします。

●編集委員
北澤　忠
滝澤　徹雄
佐野　宏
吉原　重利
中嶋　三津子
黒澤　嘉武
櫻井　彰人
関澤　信彦
山嵜　修子
柳澤　邦男

植物油インクを使用しています。
この印刷物はグリーン購入法の基準を満たす再生紙を使用しています。

会長あいさつ

上田市農業委員会長　**柴﨑　義和**

師走の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は上田市の農政業務、とりわけ農業委員会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私はこの度、7月20日の臨時総会において、会長の重責を担うことになりました。与えられた任務の重大さ、責任の重さに改めて身の引き締まる思いを痛感しております。

さて、上田市農業委員会は、農業委員会等に関する法律が改正され、新たな選出方法により、24名の農業委員が市長から任命されました。また、新たに農業委員会から23名の農地利用最適化推進委員を委嘱し、ここに新体制による3年間の任期がスタートしました。皆様ご承知のとおり、上田市における農業の現状は、平地と中山間地が混在するなか、それぞれの地域によって農地等の利用状況や営農類型が異なっており、地域の実態に応じた取り組みを推進し、それに向けた対策の強化を図ることが求められております。特に、中山間地では、農業従事者の高齢化による離農の増加や、少子化による後継者不足、また農業による採算性の厳しさ等から遊休農地の発生増加が懸念されているため、その発生防止・解消に努めていくことが急務であります。このため、これらの課題に積極的に対応していくために、農業委員と農地利用最適化推進委員が的確に連携し、農地の有効利用を図るとともに、担い手の育成・支援などに努めていきたいと考えております。

私たち上田市農業委員会は、関係機関・団体と連携を図りながら、委員が一致協力して農業委員会の使命であります「農地利用の最適化」に努めていく所存ですので、引き続き皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

農地の「貸したい」、「借りたい」を支援します。

農地の貸借［農地中間管理事業］

■ 農地を貸したい

○長期に貸付けすることが可能です。
○賃料は機構が毎年支払います。
○機構集積協力金の交付対象になる場合があります。

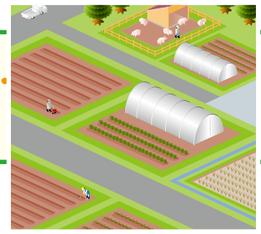
■ 農地を借りたい

○人・農地プランに沿って担い手に農地の集積を進めています。
○農地を集積し効率的な営農と規模拡大を図ることができます。
○果樹等は長期な貸借により安定的な規模拡大を図ることができます。
○地域で取り組むことで有利な基盤整備事業に取り組むことができます。

※農業振興地域内の農地が対象です。
※貸借には一定の要件があります。

農地の売買［農地売買支援事業］

農地の売買も取り扱っております。お気軽にご相談ください。



■ 農地を売りたい

○譲渡所得が800万円まで特別控除
○適正な価格で契約

■ 農地を買いたい

○登録免許税、不動産取得税の軽減
○長期で低利な制度資金（スーパーＬ資金）の対象可（別途審査要）

※農業振興地域における農用地区域内農地が対象です。　※売買には一定の要件があり、手数料がかかります。

●お気軽にご相談ください。
（公財）長野県農業開発公社上田事業所　上田市材木町1-2-6　電話 0268-23-1260（代表）

「食品ロス」について知ろう

～「食べ物」をムダにしていませんか～

JA信州うえだ　総務企画部くらしの相談課　**羽毛田　有理**

皆さんは「食品ロス」という言葉を聞いたことはありますか。「食品ロス」とは、食べられる食材であるのに様々な理由から捨てられてしまう食品のことをいいます。政府広報オンラインによると、日本では年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2、800万トンといわれ、「食品ロス」は約632万トンとされています。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量（平成26年で年間約320万トン）を大きく上回る量です。日本人1人当たりに換算すると、〝お茶碗約1杯分（約136ｇ）の食べ物〟が毎日捨てられている計算となります。日本の食料自給率はカロリーベースで現在39％、約60％も輸入に頼っていますが、この「食品ロス」が起こる主な原因として、食べ残しや過剰除去、直接廃棄などが挙げられます。このように、大半を輸入に依存しているのにもかかわらず食べられる食料を大量に捨てているという現実があるのです。もったいないと思いませんか。

「食品ロス」を無くすことによって、家庭の余分な支出を減らすことにも繋がります。身近なところから「食品ロス」の削減に取り組んでみませんか。主な削減方法として、食品を買いすぎない、正しい保存方法を知る、「消費期限」と「賞味期限」を正しく理解するということが挙げられます。そして、もっとも身近な削減方法が、「食べ残しをださない」ということです。食べ切れる量の食事を作ることを意識し、余った食材は別の料理にアレンジして使いきりましょう。

今後も世界の食料自給率の低下が予想されており、「食べ物」の大切さが改めて取り上げられています。日本でも「食品ロス」の削減の取り組みは、企業と消費者の双方で行われ、「食べ物」を大切にする動きが強まっています。正しい食の知識を身に着けるだけでなく、家族みんなで無駄のない食事を心がけていただきたいと思います。

○参考文献
政府広報オンライン（2016）
『もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう』

山嵜委員　お勧めレシピ

JAさんより教わりました！

①サンマのらっきょう酢煮

濃い味付けで美味しいです

◀材　料▶【4人分】
●サンマ 4尾　●A｛らっきょう酢 150cc／みりん 50cc｝
●生姜 30ｇ

◀作り方▶
①サンマは頭と尾を切り落とし、内臓を取り、4～5等分に切ります。生姜は薄切りにします。
②鍋にAと生姜を入れて煮立て、サンマを入れて落し蓋をします。
煮汁がなくなるまで弱火で煮ます。

②サンマの梅干し煮

我が家の味！

◀材　料▶【4人分】
●サンマ 4尾、●梅干し(塩分20%) 2～3個

◀作り方▶
①『サンマのらっきょう酢煮』と同様にサンマを切り、梅干しだけで煮ます。15分ぐらいで出来上がります。

さっぱりとした味で好評です

③柿の漬物

好みで砂糖も

少し渋みが残る柿は、味噌と醤油で漬けると、おつまみになります。

農業委員会の組織・役割　法改正後初の農業委員会 新体制スタート

7月20日上田市中央公民館において、法改正により、これまでの選挙制から市長による任命制に変更後、初となる上田市農業委員会臨時総会が開催され、新農業委員24名に土屋市長から辞令が交付されました。

その後、農地利用最適化推進委員23名を委嘱する議案を原案どおり可決した後、委嘱書が交付され、新体制47名による上田市農業委員会がスタートしました。

農業委員 24人

① 合議体としての決定行為
（担当地区での現場活動）
② 農地利用最適化の推進に関する指針を作成・変更
③ 農地の権利移動の許可、農地利用集積計画の決定
④ 農地転用許可にあたって、具申すべき意見の決定
⑤ 農地利用の最適化の推進に関する施策について、提出する意見の決定

連携

農地利用最適化推進委員 23人

① 担当地区において現場活動を行う
② 農地利用最適化の推進に関する指針の作成・変更に推進委員として意見を述べる。指針を踏まえて現場活動を行う。
③ 推進委員として意見を述べる

※なお、上田市においては、当面は連携を深めるため、両委員とも現場活動に重点を置き、各任務を行うこととなります。

平成30年度農業委員会事業計画

●農地委員会

・農地法等に基づく業務執行
・農地流動化の促進
・転用許可後の確認調査と違反転用の指導
・農地関係研修会等の開催
・山林化した農地の非農地認定手続きの推進

●農政小委員会

・農地利用状況及び意向調査の実施
・遊休農地解消の推進
・農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定
・地産地消の推進と食育の充実
・農業生産・農業経営及び農業生活に関する調査及び検討
・有害鳥獣駆除対策、地域農業再生に関する取組み
・「上田市農業施策等に関する要望書」等の提出の検討

●振興小委員会

・担い手の確保・育成等の推進
・休日農地相談会の開催
・農業振興に係る懇談会の開催
・農業者及び農業関係団体等との意見交換会の開催及び連携強化
・農業者年金加入と家族経営協定締結の普及推進
・情報発信の強化
・農業委員会だよりの発行

9月11日農地法研修会の感想

農地利用最適化推進委員　黒澤嘉武

食糧生産や国土保全・水資源のかん養などの重要な役割を果たしている農地は、将来に亘って地域のみんなの力で維持管理していくべき貴重な資源です。

農地法では、農地は耕作者自らが所有することで重要な役割を果たしているので、農地を農地以外のものにすることを規制しています。また、耕作者による農地の権利取得は地域との調和に配慮することなどが規定されています。

農地法をはじめとする関連法令に従い農業委員会では農地の売買・贈与・転用の申請について、まず担当の委員が申請者に対する事情聴取や現地調査等を行い、それに基づき地区審議会でその可否を審議し、さらに農地委員会での審議を経て許可書等が交付されます。

先人の教えのままに農地を守り、この地域のかけがえのない自然環境を次世代に引き継ぐ事ができるよう努める所存です。

安曇野新任研修会

安曇野新任研修に参加して

農地利用最適化推進委員　柳澤邦男

去る9月27日木曜日、安曇野スイス村サンモリッツ大ホールに於いて新任農業委員研修が行われ、上田市から27名が出席しました。研修事項として①農業委員会（農地利用最適化の推進）について②農地法及び遊休農地に関する措置について③農業経営基盤強化促進法及び農業振興地域の整備に関する法律について④農地中間管理事業の推進について⑤農業者年金制度について研修会がありました。講師のお話は農業委員会の組織、構成、仕事、守秘義務等の心構え、そして農地法とその関連法による土地の売買、賃借、遊休農地の活用等その他多目的にわたっていました。

私は委員になって未だ二ヶ月、講師のお話は初めて聞くことばかり、良く分からないまま研修は進みました。

研修が終了し自分なりに理解した事は農業委員等の責任の重さ、そして農業の大切さ、農業の将来を真剣に考えなければならないという事です。この様な事を思いながら安曇野スイス村を後にしました。

農地法研修会

全国農業新聞購読のご案内

全国農業新聞とは地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する農業総合専門紙です。

まずは無料で1カ月

全国農業新聞1ヵ月分（4回分）を無料送付

週　刊　月4回 金曜日発行　　月700円（消費税込）

詳しくは、農業委員会事務局 ☎23-5466 までお問い合わせください。

農業委員及び農地利用最適化推進委員紹介

任期は平成30年7月20日から平成33年7月19日までの3年間です。農地の相談はお気軽にお寄せください。

①担当委員会　②主な役職　③担当地区　④推薦団体

（氏名の順は写真後列の左側から）

上田地区審議会

白石　武夫	①農地　②地区審副会長 ③大屋・岩下・蒼久保・国分
中澤　健二	①農地　②地区審議会長 ③秋和・塩尻
滝澤　徹雄	①農政小 振興小　②推進委員長 ③旧上田・常磐城
髙橋　牧尋	①農地　②農業委員 ④上田商工会議所（利害関係のないもの）

川西地区審議会

宮﨑　一男	①農地　②農業委員 ③小泉（半過を除く）
滝沢　康之	①農政小　②地区審副会長 ③上田原・下之条・神畑・築地
櫻井　彰人	①振興小　②推進委員 ③仁古田・岡・浦野・越戸
和泉　潤一	①農地　②農業委員 ③室賀
上原けさ恵	①農政小　②推進委員③（上田原・下之条・神畑・築地） ④信州うえだ農業協同組合
手塚　明	①農地　②地区審議会長 ③小牧・諏訪形・御所・中之条
山嵜　修子	①振興小　②女性協議会長③福田・吉田・半過 ④長野県農村生活マイスター協会上小支部

武石地区審議会

滝澤甲子男	①農政小　②推進委員 ③下本入・上本入
松久　宏明	①農地　②農地委員長代理・地区審議会長 ③鳥屋・沖・下武石
鈴木三千夫	①農地　②地区審副会長 ③上武石・小沢根・余里
中嶋三津子	①振興小　②推進委員 ③(鳥屋・沖・下武石) ④長野県農業共済組合東信地域センター

上田東地区審議会

近藤　隆英	①農地　②農業委員 ③神科上田・住吉一部
佐野　宏	①振興小　②地区審副会長 ③町吉田・中吉田・下吉田・林之郷・小井田
倉島　政一	①農政小　②推進委員 ③上野・住吉一部
山崎　元子	①農政小　②推進委員③神科上田・住吉一部 ④生活改善グループうえだ
柴﨑　義和	①農地　②会長 ③殿城・漆戸・宮之上・森・大日木・長入
小林　亨	①農地　②地区審議会長 ③古里

塩田地区審議会

龍野　藤人	①農地　②農業委員 ③古安曽
飯塚　芳幸	①農地　②農業委員 ③上小島・下小島・保野
関澤　信彦	①振興小　②推進委員 ③手塚・山田・野倉・別所温泉
森　繁夫	①農政小　②推進委員 ③上本郷・下本郷・五加
竹内　周二	①農政小　②推進委員 ③舞田・八木沢
木村　俊行	①農政小　②推進委員③中野 ④信州うえだ農業協同組合
黒澤　嘉武	①振興小　②地区審副会長 ③富士山
小出　英明	①農地　②農地委員長代理・地区審議会長 ③十人・新町・前山
伊藤　利孝	①農地　②会長代理 ③下之郷

真田地区審議会

柳澤　邦男	①振興小　②推進委員 ③傍陽（西部）
若林　雅一	①農政小　②推進委員 ③本原（東部）
新井　要一	①農地　②農業委員 ③菅平高原
堀内　英夫	①農地　②農業委員 ③傍陽（北東部）
小市　邦夫	①農政小　②推進委員③本原（西部） ④長野県神川沿岸土地改良区
青木　和博	①農政小　②推進委員長代理・農政小委員長・地区審副会長 ③長（西部）
小宮山民夫	①農地　②農地委員長・地区審議会長 ③長（北東部）
横沢　了	①農地　②農業委員 ③本原（西部）

丸子地区審議会

鷹野　治夫	①農地　②農業委員 ③塩川一部
柳田　平和	①農地　②農業委員 ③東内
吉原　重利	①振興小　②推進委員 ③鹿教湯温泉・西内・平井
石合　重人	①農政小　②推進委員 ③生田
北澤　忠	①振興小　②推進委員長代理・振興小委員長 ③塩川一部・藤原田
下村　邦彦	①農地　②地区審議会長 ③腰越・上丸子・中丸子・下丸子
青柳東亜一	①農地　②地区審副会長 ③長瀬
西村　勇	①農地　②農業委員 ③御嶽堂

柴﨑会長 農林水産大臣表彰を受賞

柴﨑会長に続き、上田市農業委員会も併せて受賞！

上田市農業委員会の柴﨑会長が、長きにわたる農業委員会活動と農地利用の最適化に対し功績があったとして、今年3月に農林水産大臣表彰を受賞されました。

柴﨑会長は平成8年に農業委員として就任以来、20年以上農業委員として活躍。また、遊休農地対策として取り組んだ「稲倉の棚田」の保全活動や、「うえだみどり大根」など地域ブランド農産物の誕生、さらに、菅平高原の標高差を利用したレタスのリレー栽培への農地のあっせん活動などが高く評価されました。

賞状

上田市農業委員会殿

農業委員会は農地利用の最適化の推進に関し顕著な実績を挙げられ地域の農業振興に寄与するとこころまことに大なるものがあったのでこれを賞します

平成三十年三月九日

農林水産大臣　齋藤　健

また、上田市農業委員会も、丸子陣場地区のブドウ苗栽培への地元区及び農業委員の取り組み、また、㈲信州うえだファームへの農地情報の提供等の支援により、遊休農地の再生利用に取り組んだ姿勢が評価され、同じく農林水産大臣表彰を受賞しました。